

罵官吏條例

凡宮殿皇城門行在所及官院省寮司等現ニ守衛スル  
兵卒ヲ罵ル者ハ凡人罵詈ニ二等ヲ加フ

法制局議案 大史廳查

別紙司法省同兵卒ヲ罵詈スル條例増補ノ儀審案候  
處此條例ヲ増加スル時ハ等外吏ヲ罵ル律モ増加セ  
サルヘカラス且ツ特リ罵詈ノミナラス闘毆謀故殺  
等モ同様ニ有之總テ右増補ハ退テ刑法御改正ノ節  
ニテ可然儀ニ付左ノ通御指令相成可然裁仰高裁候  
也 十一月廿八日司法

六月廿八日

八年

第百拾號

謔謗律別冊之通被定候條此旨布告候事

謔謗律

第一條

凡ソ事實ノ有無ヲ論セス人ノ榮譽ヲ害スヘキノ行事  
ヲ摘發公布スル者之ヲ謔毀トス人ノ行事ヲ舉ルニ非  
スノ惡名ヲ以テ人ニ加ヘ公布スル者之ヲ誹謗トス著  
作文書若クハ畫圖肖像ヲ用ヒ展觀シ若クハ發賣シ若  
クハ貼示メ人ヲ謔毀シ若クハ誹謗スル者ハ下ノ條別  
ニ從テ罪ヲ科ス

第二條

第一條ノ所為ヲ以テ乘輿ヲ犯スニ涉ル者ハ禁獄三月

以上三年以下罰金五十圓以上千圓以下或ハ罰金ニ科シ

### 第三條

皇族ヲ犯スニ涉ル者ハ禁獄十五日以上二年半以下罰金十五圓以上七百圓以下

### 第四條

官吏ノ職務ニ關シ讒毀スル者ハ禁獄十日以上二年以下罰金十圓以上五百圓以下誹謗スル者ハ禁獄五日以上一年以下罰金五圓以上三百圓以下

### 第五條

華士族平民ニ對スルヲ論セス讒毀スル者ハ禁獄七日以上一年半以下罰金五圓以上三百圓以下誹謗スル者ハ罰金三圓以上百圓以下

### 第六條

法ニ依リ檢官若クハ法官ニ向テ罪犯ヲ告發シ若クハ証スル者ハ第一條ノ例ニアラス其故造誣告シタル者ハ誣告律ニ依ル

### 第七條

若シ讒毀ヲ受ルノ事刑法ニ觸ル者檢官ヨリ其事ヲ糾治スルカ若クハ讒毀スル者ヨリ檢官若クハ法官ニ告發シタル時ハ讒毀ノ罪ヲ治ムルヲ中止シ以テ事按ノ決ヲ俟テ其被告人罪ニ坐スル時ハ讒毀ノ罪ヲ論セス

### 第八條

若シ事刑法ニ觸レスメ單ヘニ人ノ榮譽ヲ害スル者ハ讒毀スルノ後官ニ告發スト雖モ仍ホ讒毀ノ罪ヲ治ム

凡謔毀誹謗ノ第四條第五條ニ係ル者ハ被告ノ官民  
自ラ告ルヲ待テ乃テ論ス

政廳取調掛議案

謔謗律并新聞條例改定案司法省及大審院へモ照會  
ノ上別冊ノ通取調出來候ニ付仰高裁候也六月廿五日  
司課

九月十三日 八年

謔謗律並新聞條例中疑件ヲ候ス

司法省伺

謔謗律并新聞條例中左ノ條件相同候

第一條 謔謗律第一條ニ人ノ榮譽ヲ害スヘキノ行  
事ヲ摘發公布スル者之ヲ謔毀トス云々トアリ右行  
事ヲ摘發公布スルニ過去ノ行事ヲ指スアリ現在ノ  
行事ヲ指スアリ或ハ想像ニ基キ未來ノ行事ヲ指スアリ  
ヲ糾治ニ可相成儀ニ候哉又ハ過去現在未來ヲ分々  
ス皆糾治ニ可相成儀ニ候哉

第二條 同律第四條ニ官吏ノ職務ニ関シ謔毀スル  
者ハ云々トアリ然レハ職務ニ関セスシテ其一身上  
ニ関シ謔毀スルニ至テハ第五條ヲ以テ論シ候儀ト